



「神奈川リフレッシュプログラム」

2019年報告書

福島子ども・こらっせ神奈川

後援

檜葉町 檜葉町教育委員会 双葉町 双葉町教育委員会
山北町 山北町教育委員会 神奈川県 神奈川県教育委員会
(財) 神奈川県高等学校教育会館

謝辞

みなさまのおかげで、第8回プログラムを無事終了致しました！ 世代交代を見据えた新たなこらっせへ

多くの方に支えられ、8月5日から7日までのプログラムを終了して、子どもたちを無事に保護者のもとにお返しすることができました。深く感謝いたします。今回の参加者は小学校3年生から6年生まで28人。こらっせユースが春休み・夏休みに応援に行っている檜葉町の児童館（学童保育）から15人が神奈川に遊びに来てくれ、こらっせユースのメンバーと再会しました。また、例年お世話になっていた丹沢荘が昨年に閉鎖になり、今年は湯川町長のご紹介で、バーデンライフグループ研修センターを使わせていただきました。緑に囲まれ、川にも近く、関係者のみなさまにホスピタリティー溢れる対応をしていただきました。

今年で8回目を迎えた「神奈川リフレッシュプログラム」も、世代交代を見据えて今後どのように活動を続けていくか考える時期に入りました。2011年3月11日と原発事故の衝撃。多くの日本人が何か役立ちたいと考え行動しました。福島子どもこらっせ・神奈川（こらっせ）も、福島っ子の健康を守りたい、具体的には「移動教室」のモデルを作ろうと2012年4月に結成されました。8年間を経過し、私たちのミッションが現実とは合わないところも出てきましたが、行政との協力関係を構築し、福島の特定の学校・地域子どもたちを神奈川に招くという方針は変わることなく活動しています。

プログラムを重ねていく中で交流が大事であることを認識し、学生が福島県檜葉町の児童館に応援に行くようになり、山北町の小学生との交流もスタートする等、新たな活動が加わりました。福島・神奈川の地方自治体には後援をお願いしていますが、とりわけ山北町役場・教育委員会と檜葉町教育委員会・社会福祉協議会には、様々な支援をしていただいています。子どもの健康問題に関しては、当面は2013年より継続してきた省庁交渉を通じて、定期的な甲状腺検査の完全実施を国・自治体へ要請しています。

私たちの現在の課題は、財政と人材の確保です。プログラムの参加者が子どもたちだけなので、安全・安心面を考慮するためには、学生・社会人ボランティア、事務局スタッフなど多数の人材が必要で、経費も膨らみます。財政についていえば、世間の関心が薄れていることもあり賛同金が集まりにくくなっています。人材についていえば、最大の問題は裏方を担う事務局スタッフの高齢化です。そこで、事務局スタッフ・ボランティアとして育ってきている若い世代をいかに増やし、世代交代をしていくか議論するワーキング・グループを作ることを決めました。

最初の目標は、3年は継続するということでした。今は、自戒を込めて「フクシマを忘れない」ために10年を超えて新しいこらっせを創りだしていきたいと考えています。そして何よりも、活動には賛同・協力してくださっている皆様のご支援が不可欠です。今後ともご支援を宜しくお願い致します。

「福島子ども・こらっせ神奈川」事務局

プログラム

日 程 2019年8月5日(月)～7日(水)

場 所 バーデンライフグループ研修センター、山北町丹沢湖ロッジ

	午前	午後	夜
8月5日	いわき駅出発	オリエンテーション	ウェルカムパーティー・花火大会
8月6日	体育館遊び	川遊び	BBQ・キャンプファイヤー
8月7日	横浜に移動	みなとみらい散策	いわき駅到着

8月5日（月）



いわき駅で集合し、
特急ひたちで出発



とっても天気の良い中
檜葉町からいわき駅へ



小田原駅からバスで移動
バーデンライフ研修所に到着



オリエンテーションで学生の紹介
気になるグループも発表



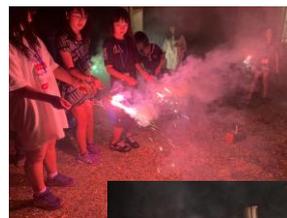
全員でレクリエーション！



山北町の湯川町長、高橋課長、バーデンライフ湯川理事長も
駆けつけてくださいました！



山北町
湯川町長のお話



ウェルカムパーティーのご飯が美味しかった。
花もめんさんが作っていただきました！



花火が色々な色で
キレイだった

8月6日（火）



朝ごはん！
いただきます！ごちそうさま～



午前中は山北町立三保小学校の
体育館をお借りして遊びました！



三保小学校の
飯田校長先生のお話



檜葉ジュニアバレーボール
スポーツ少年団の子は、
バレーも練習。強かった！



お昼のカレーが美味しかった♪
いっぱいあったご飯が無い！



みんなでスイカ割り
をしたのが楽しかった





川が冷たくてビックリした



ほかの学校の人と仲良くなれた



大学生と水かけをしたのが楽しかった



丹沢湖ロッヂに移動してバーベキュー！！



お肉がジューシーだった



次は、キャンプファイヤー！！

火の神が登場！



大学生といっしょにパプリカを踊れたので良かった



山北っ子とさようなら

8月7日（水）

食事を作ってくださった WE21 ジャパン藤沢のみなさん



支援者から富良野のメロンを
たくさんいただきました



ランドマークタワーから綺麗な景色をみたよ

最終日は横浜に移動！
みなとみらいで散策～



三菱未来技術館では、
知らないことを知れて楽しかった



コスモワールドの
ジェットコースターが楽しかった



グループごとに
ランチタイム～



品川駅で学生とさようなら！また会おうね～



いわき駅に到着

子どもたちの感想

● 福島っ子

1 日目

- ・ とても楽しかったです。ほぼ全員の名前を覚えました。1 番に「ウェルカムパーティー」が楽しかったです。みんなと楽しくおしゃべりしながら、たくさんおいしい物を食べました。



- ・ 来るときの電車は、はじめてのったのでわくわくしました。花火大会では、ヘビ花火や回転花火をやって楽しかったです。
- ・ 移動が疲れた。電車の中でバディファイトができて楽しかった。
- ・ はなびでいろいろなしゅるいがあったのしかった。
- ・ あしたの体育かんであそぶのがたのしみ。



2 日目

- ・ 川遊びをして、最初は水にふれるのがむずかしかったけれど、大学生たちとあそんで、たのしかった。
- ・ BBQ が楽しかった。焼きマッシュマロに感動した。
- ・ みほ小学校の子や、違う学校の子と友だちになれてうれしかった。今日 5 人友だちがふえました！！でもまだまだ友だちを作りたい！！
- ・ 川遊びで魚がいたことがすごかったです。体育館で遊んだことが楽しかったです。
- ・ 昼間、美味しいカレーや川遊びで遊んですごく楽しかった。バーベキューは美味しかったし、キャンプファイヤーがすごかった。TT 面白かった。
- ・ 今日は川遊びと BBQ をしました。流れが速い川で遊んだのが楽しかったです。BBQ で「TT 兄弟」がとても面白かったです。帰りの車でこわい話をしたのがいちばんこわかった。



3 日目

- ・ 久しぶりにぐるり森に入れて楽しかった。UFO キャッチャーで一発でぬいぐるみがとれた！
- ・ ショッピングが楽しかった。ママとパパにお土産買えた。
- ・ ジェットコースター（スピニングコースター）が楽しかった。もっとコスモワールドで遊びたかった。ピカチューが可愛かった。今年で最後なのが残念…



- ・ ランドマークタワーが面白かった。ランドマークタワーで買った模型は友達に自慢できそう。ピカチューの大きなバルーンを見れて嬉しかった。
- ・ みんなと散策して楽しかった。



● 山北っ子(2 日目)

- ・ 川遊びで学生たちに水をかけるのが楽しかった。
- ・ バーベキューでもいっぱい食べられた。
- ・ バーベキュー美味しかった。川遊びでめっちゃ浮かんで流れた。
- ・ 川で流れたのが楽しかった。
- ・ スイカ割りが楽しかった。
- ・ 妹と一緒に、川で流れたのが楽しかった。



こらっせユースの感想



私は昨年に引き続き2回目のリフレッシュプログラムへの参加でした。私はキャンプファイヤーの進行を担当させて頂きましたが、レク、学生の出し物など、比較的スムーズに行え、また子供たちにも楽しんでもらえたかなと思います。しかし、もっと詰めていかないといけないことや、良くできることはあったと思うのでその反省はしっかりしていきたいと思っています。この3日間で、子供たちと触れ合うことの楽しさはもちろん学ぶことも多くありました。来年は自分たちが学生の中心にならなければいけないので、反省を活かしながらしっかりやり遂げたいと思います。

今回は私にとって初めてのこらっせとなりましたが、それは私の予想を遥かに超えて素晴らしいものでした。子供らしい表現にはなりますが、こんなにキラキラと輝いていた夏の三日間はいつぶりだろうとずっと思っていました。ビデオゲームで楽しむのとは全く違った笑顔が沢山見られたことが非常に印象的で、子供が自然で遊ぶ環境の必要性が大切なことが分かりました。



今回初めて参加させていただきました。特に川遊びでは、楽しみにしている子が多かったこともあり、子ども達のキラキラの笑顔を沢山見ることが出来ました。このプログラムを通して、子ども達はこの活動をとっても楽しみにしているということに気付きました。出会って数分で「〇〇が楽しみなよ!」「こらっせ楽しいから今年も来たよ!」など、お別れをする時には「来年も絶対来るよ!!」と言ってくれたり、こらっせが子ども達の夏休みの楽しみの一つになっていることを嬉しく思いました。私自身も、この三日間は子ども達と沢山関わることが出来てとても楽しく、教員を目指しているという面でも学ぶものが多くありました。支援してくださる方々がいるお陰でこの活動を行えているということへの感謝を忘れずに、今後もこらっせの一員として活動していきたいです。

リフレッシュプログラムに参加して、よかったと思う事がたくさんありました。例えば、子ども達と近い距離でたくさん関わったことです。普段も、子どもたちと関わる機会はありますが、あそこまでずっと同じ子どもと一緒にいることはないので、新鮮ですごく楽しかったです。子ども達は、最初は緊張しているようにも見えましたが、花火を見つめるキラキラした顔、2日目の川遊びは子ども達が心から楽しみながら遊んでいるのが見てとれました。また、プログラム中は少しわがままだなと感じた子ども達が、3日目にジェットコースターに乗るかどうかの話し合いになった時、乗れない子がいるならやめようと子どもたちから発言がありました。自分の気持ちより友達の気持ちを優先できているのを見て、この3日間で何か変わったのかもしれないと感じ、子どもたちの成長を垣間見ることができたことも嬉しかったです。



今回は今までお世話になっていた丹沢荘が閉鎖されてしまったため、女子はバーデンライフ研修センター、男子は魚山亭という旅館で宿泊させて頂きました。今までの丹沢荘と違い、バーデンライフ研修センターでは、女子全員が一つの大部屋に泊まる形だったので、他の班の子とトランプをしたりお喋りをしたりと班の枠を超えた交流が多く見られました。私は今回3回目の参加でしたが、毎年、プログラムの3日目に「プログラムが終わるのが寂しい」「来年も絶対行く!」という声を聞き、喜びを感じています。この3年間で震災や教育について多くの事を学び、考える事が出来ました。この活動を支援して下さる多くの方々に感謝申し上げます。今後も今まで以上に子ども達が笑顔になれるような活動にしていきたいと思っています。

今年のリフレッシュプログラムは3度目のリフレッシュプログラムと計5回の檜葉の児童館支援に参加したこともあって、子どもたちと面識がありました。全体を俯瞰しながら、自分なりに子どもたちと接することができた3日間となりました。今回は子どもだけでなく事務局の方々とも多く関わらせていただきましたが、いろいろな人の想いや考えを統合することの難しさや、目的は違えど1つの活動をとにもすることの面白さを改めて実感しました。



児童館を訪ねて

●第1期 3月26日(火)～27日(水) あおぞらこども園／檜葉南小学校体育館



私は今回が初めての児童館応援で不安がありましたが、子どもたちは学生が来ることを楽しみに待っていてくれたようで沢山話しかけてくれました。体育館での企画は車の工作を行いました。その後こども園に戻り、自分が作った車をジャンプ台などのコースを走らせて遊びました。



2日目の室内では殆どの子が昨日の工作で作った車で遊び、障害物を組み合わせたり、的を設けるなど工夫して遊んでいる子もいました。発射台の使い方もだいぶ慣れて、手に走らせることができていました。4月から新しく中学1年生となる子は最後の児童館となりました。寂しい気持ちもありますが、ここでの思い出をぜひ忘れずにいてほしいと思っています。



●第2期 4月2日(火)～3日(水) あおぞらこども園／檜葉南小学校体育館



あおぞらこども園の部屋が、以前来た時よりも入口から奥の方に移動していました。私たちが、こども園まで歩いていく間に子供たちは窓のそばまで寄ってきてくれました。

体育館のレクリエーション(レク)に入る前に世界観を意識してもらおうと「夏野菜の喧嘩」という劇を行いました。そこで、どの夏野菜が一番かを決めるために子供たちにはレクで戦ってもらおう！という流れにしました。



1つ目のレクはフラフープ送り。子供たちは作戦会議でどういったら早く送れるか、という工夫を一生懸命考えて実践していました。2つ目は野菜キャッチ。他の野菜を取らないように慎重にやりながらも楽しんでくれていました。3つ目は鬼ごっこ。それぞれの野菜のポーズを取りながら走る鬼ごっこでしたが、全力で走って楽しんでくれていました。



●第3期 8月19日(月)～20日(火) (1日目)あおぞらこども園/天神岬スポーツ公園

私は児童館支援に参加するのが初めてでしたが、リフレッシュプログラムで関わった子ども達と再会し、とても充実しました。

1日目は「東京大学 夏の科学教室 in Naraha」という企画に参加しました。子ども達は楽しそうにセミの抜け殻を見つけては採取を繰り返しました。捕まえたセミの抜け殻を観察し、“アブラゼミ”か“ミンミンゼミ”か判断しました。ミンミンゼミがあまりいなかったので、1人1人が真剣になって探していました。その後のなぞなぞ大会では、児童や学生が問題を出し合いました。特に学生の問題は難しかったようで、児童が楽しそうになぞなぞを解いていました。



(2日目)あおぞらこども園/コミュニティセンター

2日目の料理教室では、“トロピカルカレー”と“和風ポテトサラダ”を作りました。料理の際、低学年の子を高学年の子が面倒を見たり、子ども間での協力が見られました。普段と異なる味付けの料理を子ども達は美味しく食べていました。包丁や火を扱いましたが怪我人はなく無事に調理を終えることが出来ました。



来年また神奈川で会おうねと沢山の子が言って来てとても嬉しかったです。2日間という短い時間でもたくさん子ども達と関わることができ、とても貴重な時間を過ごすことができました。



ホームページが完成しました！

いつも活動を支えてくださっている、福井貴久子さん、千村和司さんのご協力で遂に完成しました！今までのプログラム報告書や児童館支援の内容など、賛同人の方に向けて発信していた内容の一部が掲載されています。実は、プログラム中にはtwitterを通してプログラム中の様子を中継していました。そして、ブログでは短文で載せきれない情報も発信していきます。



素敵なロゴも完成！
山北の自然がモチーフです

今後も随時更新していく予定なので、ぜひご覧ください♪

ホームページ:裏表紙に URL 記載

Twitter : korasse_kana



ブログ記事

2018年度市民応援プログラムの組合員応援賞を受賞しました

2019年5月29日、山北町、遠野さんと藤井さんの3人で「生活協同組合パルシステム神奈川中野コープ」が主催する「2018年度市民応援プログラム 報告・交流会」に参加し、嬉しいことに組合員応援賞をいただくことができました。この受賞は、市民活動応援プログラムで協力をいただいた16団体を対象に、組合員からさらに寄付を募り表彰金額が一歩多かった団体がいただけるのです。

受賞理由として、大学生がただボランティア活動に参加するだけでなく、事務局と協働してプログラムを運営している事、同時に山北町との連携が強化につながった事が挙げられました。「ごらっせ」が受賞したのは、パルシステム・神奈川中野コープの組合員の皆様、福島っ子の健康問題に関心を持っていただいていることとあります。本日の様子はお村の写真をみてください。(藤井あゆ子)



ご支援・ご協力をいただいた方々

WE21 ジャパン/WE21 ジャパンいそご/WE21 ジャパンこうほく/WE21 ジャパンさかえ/WE21 ジャパン藤沢/WE21 ジャパンよこすか/岡部幸江/かながわ生き生き市民基金/神奈川県教職員組合/神奈川県高等学校教職員組合/神奈川ネットワーク運動/かながわボランティア活動推進基金 21/共和のもり/魚山亭やまぶき/高校年金友の会/生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ/生活クラブ生活協同組合神奈川/静友会(バーデンライフ・グループ)/全水道神奈川県支部/丹沢湖ロッジ/千村和司/とれたて山ちゃん/檜葉町教育委員会/檜葉町社会福祉協議会/檜葉町立檜葉南北小学校/2010 オリーブの木/ビートルズのチカラ!/日野彰/福井貴久子/福島原発かながわ訴訟を支援する会/双葉町教育委員会/双葉町立双葉南北小学校/三菱みなとみらい技術館/山北町役場/山北町教育委員会/山北町立三保小学校/横浜コスモワールド・泉陽興行(株)/横浜市教職員組合/Love & Peace/ランドマークタワー・三菱地所グループ/吉野裕之/和布細工工房「ほのぼの」(五十音順)

賛同団体

WE21 ジャパンいそご/WE21 ジャパンこうほく/WE21 ジャパンさかえ/WE21 ジャパン藤沢/WE21 ジャパンよこすか/MD 女子会/神奈川県高等学校教職員組合/神奈川平和遺族会/相模原商事/神高教シニア運動/ストップブルトニウム神奈川連絡会/青猫書房/東日本大震災・復興支援まつり 2018 実行委員会/パルシステム市民活動応援プログラム/ビートルズのチカラ実行委員会/避難者の会・かながわサポーターズ/ユニオンヨコスカ/W.Co 森のはらっぱ (五十音順)

賛同個人

荒川淳/石川美佐緒/石下直子/石田浩二/石塚光行/井出都/伊藤大介/伊藤照子/伊藤知子/稲垣博美/岩田容子/上野勝/梅田悦子/益塚初枝/蛭谷康夫/大野圭子/岡野三郎/大治朋子/奥村美知子/小津みち子/小山千鶴子/加藤美恵子/金栗聡/金澤あゆみ/金子文夫/鎌田広将/亀井君枝/加山久夫/木村早苗/日下景子/工藤妙子/國井哲男/久保新一/倉田謙/黒澤知弘/高力英夫/小海憲子/古座野郁子/五藤久枝/児玉繁信/坂上みつる/坂上美代子/坂巻フミエ/坂本みや/佐々木紀子/佐々木智子/笹野和恵/佐藤聡/佐藤公彦/佐藤茂伸/佐藤みつ/佐藤令子/佐野清文/地代所達也/篠崎栄子/嶋崎千代子/杉田恵子/杉山照枝/鈴木昭/鈴木和枝/鈴木江郎/鈴木操/首藤天信/高野克美/高橋厚子/高橋真知子/高橋美智子/高橋祥夫/高見由美子/竹田邦明/立岡宏宏/田沼時代/千野紀美子/塚本鉄男/柘植敬子/露木順一/鶴田賀陽子/鉄地河原清美/土井昌治/遠野はるひ/戸田真由美/中川登志男/永瀬裕子/中村潔/中村光一/中村徳子/中村信子/仁上博恵/錦織順子/沼里和幸/野口いづみ/蜂谷隆/原ヨシ子/日浦幸子/東祐司/藤井あや子/藤島政彦/藤見睦彦/藤本泰成/古河和男/古川文乃/風呂橋修/辺見妙子/細谷弘子/前田正裕/松田正/松原ノリ子/松本明子/真矢公子/三輪純子/三輪智恵美/向田映子/武藤一羊/村田隆/村田弘/村田由美子/森幸子/八島忠義/梁島曉美/山浦真由美/山際正道/山城恵子/山田勇/山田俊子/山中悦子/山西道子/山本明德/横山満里奈/湯川裕司/吉田哲四郎/吉田明/若林智子/渡辺郁江(五十音順 名前不掲載1名)

会計報告

神奈川リフレッシュプログラム収支報告 (2019年4月1日~8月31日現在)

収入の部

寄付金及び賛同金	877,368円
パルシステム助成金	300,000円
団体繰越金繰り入れ	308,159円
合計	1,485,527円

支出の部

学習会・研修会	55,427円
宿泊費及び食費 (研修所・BBQイベント)	568,776円
参加者移動 JR代	
・ボランティア交通費	338,970円
プログラム保険料	20,230円
横浜散策等経費	76,560円
大学生の児童館支援	
・事務局渉外対応	170,830円
運営費(通信費、広報費、事務費等)	248,424円
雑費	6,310円
合計	1,485,527円

おわりに

今年は天候に恵まれ、山北町の自然と、横浜での散策を満喫することができました。今回から宿泊施設が変更となったことで、バタバタしていた部分も多かったのですが、山北町並びにボランティアの皆様からの多大なご協力を頂き、無事にプログラムを終える事ができました。

ここ最近ではLINEでの情報共有、Twitterでの情報発信など、ネットを介したやり取りが大人数の団体でのコミュニケーションを補ってくれています。しかし、やはり一番必要なのは、対面でのコミュニケーションだと感じました。実際に、現物を見て、顔を見ながらお話すことで得られる情報量の多さに勝るものはありません。こらっせが活動開始した当初と比べ、運営面ではノウハウが蓄積されてきたと思います。役割分担が明確化された反面、いつも通りで大丈夫という安心感も出ています。安心と安全な活動が「普通」で、「最も大事」あることを忘れず、より一層気を引き締め、今後も活動を行っていききたいと思います。

「福島子ども・こらっせ神奈川」事務局 横山満里奈

スタッフ

●こらっせユース 青木愛美/赤崎夏希/内海克也/太田裕貴/大淵桜子/加藤柚菜/木山玲実/熊谷健太/佐藤聡/柴田一樹/坪井香澄/二宮朱里/疋田翔己/古屋結麻/山口晴大

●市民ボランティア 伊藤知子/大町奈津美/金澤あゆみ/柄尾ちづ子/根本エENZ/野徳恵子/山口啓/山口雅代

●事務局スタッフ 伊藤大介/稲垣博美/金子文夫/窪田桃子/高橋おいどん/遠野はるひ/錦織順子/蜂谷隆/藤井あや子/山際正道/横山満里奈/若林智子 (五十音順)



賛同人を募集しています！

賛同金(一口) 個人 3,000 円 団体 10,000 円

ご賛同頂ける方は、振込用紙に住所・電話番号・メールアドレスの記載をお願い致します。報告書、ニュースレターをお送りします。

振込先 郵便振替

口座名称 福島子ども・こらっせ神奈川

口座番号 00270-7-101155

「神奈川リフレッシュプログラム」2019 年報告書

発行日 2019年9月12日

編集・発行 「福島子ども・こらっせ神奈川」

TEL:045-353-9008 FAX:045-353-9998

E-mail : info@korasse-kanagawa.org

WEB : <http://korasse-kanagawa.org/>

表紙 メリノ 制作 事務局

